

令和元年度 第1回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務作業部会
総務部会 議事録

審議会等名 令和元年度 第1回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務
作業部会総務部会

日 時 令和元年7月16日（火）午後6時00分～午後8時00分

会 場 下野市役所 2階 202会議室

出席者 高山信夫 部員、伊澤行雄 部員、川俣達夫 部員、谷萩昌道 部員、
舘野 勝 部員、澤野辰徳 部員、稲見有加里 部員、海老原裕子 部員、
塩濱弘子 部員、海老原忠 部員、竹田昌彦 部員、塩沢建樹 部員、
倉井典子 部員、近藤善昭 部員、田澤孝一 部員
【欠席委員】 小野寺明 部員

市側出席者 池澤勤 教育長、
（事務局） 斎藤英子 教育総務課主幹兼課長補佐、星野友保 学校教育課課長補佐
兼指導主事、森口哲二 同課主幹、稲葉亜希恵 同課主幹兼指導主事、稲見雄太 同
課主幹兼管理主事、上野保久 同課小中一貫教育統括コーディネーター

公開・非公開別 （公開） ・ 一部公開 ・ 非公開

傍聴人 0人

議事録（概要） 作成年月日 令和元年7月17日

1. 開会（星野補佐）

2. 委嘱状交付

3. 教育長あいさつ（池澤教育長）

義務教育学校設立について現在に至るまでの経緯の説明。この実務作業部会の総務部会
はたいへん検討内容が盛りだくさんです。地域、保護者、学校関係者による組織として、
総務部会の他に、スクールバス運行管理部会があります。これら二つの部会と合わせまし
て教職員と学校関係者による作業部会が設けられています。皆さんには、ご多忙のところ
お骨折りをおかけしますが、どうぞよろしくお願い致します。本日に至るまでの経過・経
緯の報告と合わせてあいさつと致します。

4. 準備委員会委員長あいさつ（坪山委員長）

お忙しい中お集まりいただきましてたいへんありがとうございます。6月27日に義務
教育学校の設立準備委員会を立ち上げました。準備委員会では、学校名、校旗、校歌、ス
クールバスの運行、学校経営方針等をそれぞれ検討して決めていき、令和4年4月義務教
育学校開校に向けた準備をしていきます。私はその準備委員会の委員長を務めさせてい
ただいております。総務部会につきましては、まず、学校名を決めていただくことが最初
のお仕事になってくると思います。下野市で初めての義務教育学校でありますのでたいへ
んな部分もあると思いますが、子どもたちにとって安心でよりよい学校に、子どもたちが早
く学校に行きたいと思えるような学校にしていくために、皆さんのご意見をいただきなが

ら進めて参りたいと思います。これから会議等でお忙しくなることもあると思いますが、よりよい学校づくりのためにご協力いただきたいと思います。

5 部会員紹介（自己紹介）

6 設置要綱について

（星野補佐） 本協議会の設置要綱について事務局より説明します。

（森口主幹）〔資料1 南河内中学校区小中一貫教育推進協議会設置要綱、
資料2（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会設置要綱、
資料3（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務作業部会設置要綱、
資料4（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備組織体系図について説明〕

（星野補佐）（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務作業部会設置要綱第5条第1項に「作業部会に部会長及び副部会長を置く」、第2項に「部会長及び副部会長は、部下委員の互選により定める」とありますが、いかがでしょうか。

事務局一任の声

（星野補佐） 事務局一任でよろしいでしょうか。

異議なしの声

（星野補佐） 事務局案をお願いします。

（森口主幹） 部会長に薬師寺小学校校長の海老原忠様、副部会長に南河内中学校学校運営協議会代表谷萩昌道様を推薦します。

賛成の拍手

部会長あいさつ（海老原部会長）

微力ではありますが、精一杯努めさせていただきます。先ほどの事務局の説明をお聞きしますと、この部会が検討して準備委員会に報告する内容というのは、非常に地域の方の関心も高く、重要なものであると思います。皆様と協力し合ってよりよい案を作成していただければと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

副部会長あいさつ（谷萩副部会長）

小学校3校、中学校1校を一つにして義務教育学校を作るということで、様々な案件があると思いますが、微力ながら力を尽くしたいと思います。よろしくをお願いします。

7 経過報告

（1）義務教育学校整備基本計画並びに基本設計概要について

（海老原部会長） 経過報告として、義務教育学校整備基本計画並びに基本設計概要について、

事務局より説明をお願いします。

(田澤課長) [別冊資料下野市南河内中学校区義務教育学校整備基本計画について説明]

(近藤課長) [資料5 下野市南河内中学校区義務教育学校 基本設計書〈概要版〉について説明]

(田澤課長) [資料7 (仮称) 南河内中学校区義務教育学校設立に向けた主なスケジュールについて説明]

8 議題

(1) 新校の校名について

(海老原部会長) 議事に入ります。(1) 新校の校名について、事務局より説明をお願いします。

(上野CO) [資料6 他地区学校の校名決定の仕方について説明]

(海老原部会長) 本日は、どのようにして学校名を決めるかというところまで、この部会で決めたいと思いますので、皆様から校名の決め方についてご意見をいただきます。

(高山部員) 3つの例の中では、②がよいです。理由は、下野市の名前を決めた時も、このような感じであったと思うので、その時のように、みんなの意見を聞くのがよいと思うから。絹義務教育学校の例は回覧で行ったということでしょうか。

(上野CO) 回覧ではなく、広報紙に挟んで全戸に配布したと聞いています。

(高山部員) 全戸配布がよいです。自治会に入っていない人が漏れてしまうことを心配しました。①の公募だと、躊躇する人も出るだろうし、③の校名候補を挙げるとしても、この会議で校名候補を出すのは重荷です。

(舘野部員) 回収の仕方や、多数の応募の中から選ぶのはたいへんな作業になると思います。子どもにも意見を聞きたいですが、何もないところから考えるのは子どもには難しいです。10個くらいの候補を出して選ぶ方が、子どもにはやりやすいです。最初からではイメージがわからないので、10個くらいに絞った中で、地域や子どもに選んでもらった方がよいです。③に近い意見です。

(伊澤部員) 校名決定の仕方の例で、実際に検討する期間はどのくらいかかったのですか。スケジュールでは7月から2月まで7ヶ月しかありません。7ヶ月で、どこまでできるか。どうしても本年度中に決定する必要があるのですか。

(上野CO) ①から③は、期間がかかると予想した順に示していますが、詳細は調査していません。校名が決まらないと、次の検討事項である校章や校歌等の決定に大きく影響します。そのために、まずは校名を本年度中に決めてもらいたいです。

(竹田部員) 校名決定はどういう手順で決定していくかを、特に2月のところをもう少し詳しく説明してください。

(田澤課長) こちらの会議が2月ではなくて、総務部会は1月の段階でこちらの案をまとめなくてはならないということになります。その後上部の委員会を通して教育委員会の後に総合教育会議にかけることになります。それが2月ということです。このような流れでスケジュールを組んでいます。

(池澤教育長) 総合教育会議で決定した後は、2月議会の前に議員による全員協議会がある

ので、そこで校名決定を報告し、その後の第1回議会の中で決定したいです。校名が決まらないと、その先が繋がらない。待ったなしです。1月中には南河内中学校区小中一貫教育推進協議会で了解を得たい。スケジュールの2月決定というのはこの会議の決定ではありません。ここは作業部会なので、7月には検討に入り、できるだけ早く12月中にでも準備委員会に報告してもらい、それを受けて南河内中学校区小中一貫教育推進協議会の中で1月中に検討し、そして教育委員会にかけて2月の総合教育会議にかけ、議員の全員協議会、2月から3月にかけての第1回議会で決めたいです。

(竹田部員) ほとんど時間がないということがわかりました。一つ一つ公募をかけている時間がない。誰かが案を作って、この中からどうですかという聞き方をしていかないと、今、教育長が言ったスケジュールに間に合わないと思います。

(舘野部員) 学校名を決めないと校章や校歌が決まらないという根拠は何ですか。校章や校歌と同時進行で決めていけばよいと思いますが。そういうやり方もあると思います。

(海老原部会長) 校旗の中に校名が入ります。校旗の全体のデザインは選べるが、校章が決まらないと校旗はできないし、校章を作る段階で学校名が決まっていなくてイメージを膨らますということもできません。例えば、下野市の市章を作るときは下野市の名前が決まったので現在のデザインができたと思うし、南河内中の校章にも「南河」の文字が入っています。かつて緑小学校の立ち上げの際にも、名前が先行していました。どんな形で校章を決めるとしても、学校名がないとその学校になじんだ校章にはならないのではないのでしょうか。

(伊澤部員) まず、名前ありきだと思います。そこから進まないといけなと思います。ただ、この短い期間にどうやって決めるか。やはり、この地域に住む地域の方々の考えを入れたいです。少なくともフリーアンケートはやってほしいです。こちらから提示してどうですかというのではなくて、地域の方々から意見を出してもらって、それで検討するべきです。1戸に1枚のアンケートがよいです。

(高山部員) そうすれば家族、子どもの意見もそこで聞けます。1ヶ月でも半月でも期限を切っても回収すれば、間に合うのではないですか。

(田澤課長) 期間について、絹義務教育学校だけは把握しています。対象地区の全戸アンケートを12月に実施し、3月までに校名を決定したと聞いています。4ヶ月で決定したということです。

(海老原部会長) アンケートの対象は、市内全域か対象地区ですか。

(高山部員) 南河内中学校区だけでよいです。

(谷萩副部会長) とにかく期間が短いです。その中で決めなくてはならない。絹義務学校が4ヶ月でできたということですが、その範囲や人数はどの程度であったのですか。

(田澤課長) その対象となる小学校と中学校の範囲です。

(谷萩副部会長) それは何戸ぐらいですか。4校の小学校の範囲は広いと思われそうですが。つまり決めやすいところで決めたのか、広範囲にもかかわらずやれたのかが知りたいです。

(田澤課長) 戸数は不明ですが、本地区よりは少ないと思います。絹義務教育学校では全

戸配布でアンケートを行い、学校での回収の他に、公民館等に回収箱を置き回収しやすくしたと聞いています。そこから検討して教育委員会に上程し、市議会で決定したということです。

(谷萩副部長) 絹義務教育学校は、地名が校名に入っているのですが、南河内は地名ではないので簡単にはいきません。その点で他とは事情が違います。南河内という言葉を除いて校名を決めるというのは簡単ではありません。「南河内」を使うのであれば問題はありません。

(田澤課長) 事務局の案としては、「南河内」の入った校名も候補に入るのではないかと考えています。逆に地名に無いからこそ残したいという思いを持っている方もいるのではないかと考えています。

(谷萩副部長) 「南河内」を入れない名前をつけると思っていました。

(海老原部長) そうすると5ヶ月の期間でアンケートが可能という判断でよいでしょうか。

(館野部員) 絹義務教育学校は1学年1クラスしかありません。世帯数も圧倒的に少ない。本地区で行う場合、大量に回収されたアンケートをまとめるのがたいへんではないでしょうか。

(竹田部員) 具体的に期間をはっきりさせ、対象は何人ぐらいで、どのようにやっていくのかを確認すべきです。かなり抽象的な話になっているのではないのでしょうか。

(海老原部長) 実際にアンケートをとった場合に、アンケートをいつ配布するか、回収期間をとって、第2次アンケートをいつ配布できるかを考えねばならないですか。

(田澤課長) 第2次アンケートをとるとすれば、そうなります。絹義務教育学校のやり方は、一度アンケートをとって、後はこの会で皆さんにご協力いただいて、候補を絞っていくつかの候補を上級の委員会に上げ、そちらで検討してもらって、最終的に教育委員会で候補を決定した、という流れであったので、アンケートは1回で済みました。

(海老原部長) 実質4ヶ月。3回目のこの部会で案を提出する形になります。

(田澤課長) 総務部会の開催の日程は、現在案として出していますが、部長中心に検討し臨時で集まるということも可能であるので、日程に合わせて回数等を変更することも可能です。

(海老原部長) 最初の案をどうするかということについて、全戸アンケートでその案を作るか、いくつかの候補をここで作るかというところで、それが決まれば方向性が決まります。

(澤野部員) フリーアンケートがよいです。自分が住んでいる地域は地域のつながりを感じる所。新しい学校にもたいへん関心が高いからです。

(稲見部員) フリーアンケートがよいです。一戸ごとに配布されれば、それによって家族の関心が高まるからです。

(海老原部員) 今後のことを考えると、現在中学生や高校生の人たちも、世代が変わって、自分の子や孫たちがその学校に通うことを想像しながら考えることができるので、フリーアンケートがよいです。

(塩濱部員) 対象地区みんなで考える方が、学校に対する愛着がわいてくると思うので②のフリーアンケートがよいです。

- (竹田部員) 時間的に可能であればアンケートを採った方がよいです。
- (塩沢部員) アンケートの作成も大変だと思いますが、市の広報紙を配布しているので、それに合わせて配布すればよいです。例えば8月に回収期間を1ヶ月と期間を区切って配布すれば、集められると思います。しかし、1回のアンケートで決めるのは難しいと思います。少し間を置いて2回目のアンケートをとらないと5, 60集まってきたものの中から決めるのは難しいのではないかと思います。アンケートをとるのは、地域の人々の思いが伝わるのでよいです。
- (倉井部員) 南河内中学校区全戸を対象としたアンケートがよいです。現在南河内中の「学校だより」も自治会長の協力を得ています。約40自治会320班ありますが、このアンケートも自治会長の協力を得るとよいです。
- (海老原部会長) 以上のご意見をまとめると、方向性としては、対象地区の全戸アンケート配布。2回目のアンケートは時間的に無理なので、この会の中で絞って決定するというところで、総務部会としてはよろしいですか。広報紙の発行にこだわらず、南河内中学校区の自治会長に協力を仰ぐということによいですか。
- (高山部員) 自治会に入っていない人はどうするのですか。
- (池澤教育長) 自治会長に聞いて、個別に対応します。
- (海老原部会長) アンケートの配布と回収、アンケートの作成は事務局にお願いします。
- (高山部員) アンケートは記名ですか、無記名ですか。
- (田澤課長) 今後採用が決まった際、どなたの案であったかを知る上で、記名がよいです。
- (舘野部員) ただアンケートだけを依頼しても、協力は得られません。新校のできることやどのような学校であるかをよく知らない人もいます。アンケート用紙を配布するときは、義務教育学校のイメージが伝わるようなものがあるとよいです。
- (森口主幹) お手元の「地域説明会」の案内に、新校の歴史や風土等簡単な説明がありますが、それを手直しして、アンケートと一緒につけることができます。
- (海老原部会長) それでは、アンケート作成については事務局に任せ、総務部会の方向性としては、対象地区の全戸アンケート配布。回収したものをこの会の中で絞り込んでいくということによいでしょうか。
- (伊澤部員) 方向性はそれでよいですが、いつまでに配布していつまでに回収するのかということについては、我々部員も知っておきたいです。
- (海老原部会長) 事務局には、できあがったアンケートと、配布・回収・決定のスケジュール等を部員に送付してください。

(2) 展示品の検討について

- (海老原部会長) (2) 展示品の検討について、事務局より説明をお願いします。
- (上野CO) [資料5 下野市南河内中学校区義務教育学校基本設計書〈概要版〉
資料7 (仮称) 南河内中学校区義務教育学校設立に向けた主なスケジュールを使って説明]
- (海老原部会長) メモリアルコーナーになる現在の会議室は、全部がメモリアルコーナーになるのではなく、開校後も会議室としても使うのですか。
- (上野CO) 地域開放スペースとして地域の人々の会議室にもなります。地域の人々がいつでも訪れることができる部屋になります。

(海老原部会長) 展示品の決め方についてご意見を伺います。

(川俣部員) 残したいものについて、各学校にどのようなものがあるかわからないので、それぞれの学校で、こういうものがあるとリストアップすることが必要です。

(高山部員) どのようなものを残すべきか考えるにあたって、他の学校の例を示してください。

(海老原部会長) では、学校と事務局とでリストアップして、統一してどんなものが残せるかという方向で、方向性としてはそのような進め方をして行くという形でしょうか。まずは、各学校でリストアップしてください。

(田澤課長) これは絶対に残した方がいいというものがあれば言ってください。

(竹田部員) 展示室のレイアウトはどのようになっているのですか。壁面の一部はガラス戸であると聞きますが、メモリアルコーナーの展示スペースは十分なのですか。

(田澤課長) スペースに限りがあり、全て展示はできないので、まずは残したいものをリストアップしてみて、その後取捨選択をしていきます。後は、廊下の一角等にスペースを設ける等、今後検討していくことになります。

(谷萩副部会長) 記念誌を作るというのであれば、記念誌の中に写真等で納められます。そのようなことは考えにあるのですか。

(田澤課長) 記念誌を作る予定です。内容を検討したいです。全て新しい学校に持って行くか、元々の学校にスペースを作って残すか、この3月に閉校になった国分寺西小学校では、元々の学校の方にもスペースを作って展示しています。今後の検討の一つにもなります。

(近藤課長) 現在の学校に残すものもあると思います。閉校後の校舎の利用については現在決まっていません。もし現在の校舎が利用できるのであれば、そちらに残すことも方法の一つであると思います。

(海老原部会長) まずは各学校で残したいものにはどんなものがあるかをリストアップするという事でしょうか。次回の資料には、展示場の写真を入れてください。

(稲見部員) メモリアルコーナーの部屋は決定ですか。もっと見てもらえるような場所がよいです。地域開放を想定しているという多目的室を作るのであれば、そちらの方が地域の皆さんに見てもらえるのではないのでしょうか。

(田澤課長) メモリアルコーナーの部屋はここに決定です。地域開放スペースとしての活用も考えており、校舎の玄関とは別に入り口を設けて地域の方の会議等に使用していただいたりして、地域の皆さんが活用しやすいように設計していく予定です。

(3) 今後のスケジュールについて

(海老原部会長) 今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

(森口主幹) [資料7 (仮称) 南河内中学校区義務教育学校設立に向けた主なスケジュールについて説明]

(4) その他

(海老原部会長) 以上で終了します。